

〔科目名〕 キャリア形成論	〔単位数〕 2単位	〔科目区分〕 キャリア科目
〔担当者〕 中川 宗人 NAKAGAWA Muneto	〔オフィス・アワー〕 時間: 授業内で掲示する 場所: 505 研究室	〔授業の方法〕 講義法・反転授業
〔科目の概要〕 キャリア形成論では、自らのキャリアについて大学生としてふさわしい形で考えるための基本的な知識と態度を身につけることを目指します。 この授業では以上の内容について、教科書を用いて学修していきます。原則として1回につき1章ずつ読み進めていきますので、必ず購入してください。 授業方法は、事前の読書と授業内での作業を組み合わせた反転授業を行います。具体的には、授業の前に指定の章を読み、わかった部分をまとめ、わからなかった部分はチェックしておきます。授業内では、教科書の内容を理解しているか、質疑応答・テスト等を通じて確認していきます。個人だけでなくグループでの作業を行う場合があります。		
〔授業科目群〕・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつかか〕 <ul style="list-style-type: none"> ・大学基礎演習で学んだことをより広く・学問的に掘り下げることができます。 ・社会生活、学生生活に幅広く役立つ知識を学ぶことができます。 ・経営学、経済学、社会学の基礎や応用とつながる知識を学ぶことができます。 		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 <ul style="list-style-type: none"> ・自らのキャリアについて、大学生にふさわしい形で考えることができる。 ・現代日本社会におけるキャリアを考えていくうえで、基本的な情勢を説明することができる。 		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 <ul style="list-style-type: none"> ・しゃべるスピードや音量についての希望が多かったので、聞き取りやすい説明を心がけます。 ・スライドや資料はできるだけ事前にオンラインで配布するように心がけます。 		
〔教科書〕 西村純子・池田心豪編(2023)『社会学で考えるライフ&キャリア』中央経済グループパブリッシング		
〔指定図書〕 なし		
〔参考書〕 なし		
〔前提科目〕 なし		
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 毎回出席を取ります。事務局が認める「公欠」を除いて、4回以上欠席したものは不合格とします。 成績評価は、授業内での確認テスト約40%、期末テスト約60%、合計100点満点で行います。 詳細な評価方法は初回の授業で説明します。		
〔評価の基準及びスケール〕 学生便覧の評価基準に準拠します。 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上 D:50点以上		

F:50点未満	
<p>【教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望】 教科書の指定範囲を事前に必ず講読したうえで、授業内では積極的に思考・発言することが求められます。 これらが難しい場合は単位取得が困難となりますので、計画的な履修を行ってください。 授業内での作業に配慮が必要な場合は、教務を通じて相談してください。</p>	
<p>【実務経歴】 なし</p>	
授業スケジュール	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): ガイダンス 内 容: 授業の進め方、成績評価について説明します。履修予定者は必ず出席すること。 やむを得ない事情で出席できなかったものは、出席した者に連絡を取り、自身で内容を確認すること。 教科書・指定図書</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): 資本主義社会日本で働くということ 内 容: 日本の資本主義社会で働くということ、日本的雇用慣行の形成(黎明期:1945年-1950年代)、雇用システムの形成(1960年代-1980年代)、経営環境の変化と雇用システムの転換 教科書・指定図書 第1章</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか): 福祉社会日本で生きるということ 内 容: 誰と助け合って生きていくか、日本における社会保障・社会福祉の形成、リスク社会を生きる、縮小する福祉社会を生きる 教科書・指定図書 第2章</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): 階層社会日本で生きるということ 内 容: 格差社会とライフコース、社会階層論の基本的な考え方、高度経済成長期と社会階層、近年の階層構造の変化、階層構造の変化とライフコース 教科書・指定図書 第3章</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): なぜ就活をしないといけないのか 内 容: 新卒一括定期採用という謎、日本型雇用システムと大衆教育社会、「失われた20年」と新卒採用、横並び型「シューカツ」のゆくえ 教科書・指定図書 第4章</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): 異動や昇進はしなくてはならないのか 内 容: 昇進・異動をめぐる企業と人、長期雇用と昇進・異動、昇進・異動の変化と企業内キャリア、昇進・異動とキャリアの選択 教科書・指定図書 第5章</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): 転職・独立という選択肢 内 容: 会社を辞めるという選択、高度経済成長期の転職と自営業、安定成長期以降の転職と自営業、これからの転職と独立 教科書・指定図書 第6章</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか): ずっとパート・アルバイトではいけないのか 内 容: 非典型雇用と非正社員、正社員と非正社員、雇用システムと非正社員の基幹化、正社員と非正社員のキャリアのちがひ 教科書・指定図書 第7章</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか): なぜ貧困は生きづらさにつながるのか 内 容: 日本に貧困はあるのか、こうして貧困から抜け出した、こうして貧困がまた生まれた、貧困にどう立ち向かうのか 教科書・指定図書 第8章</p>

第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):地域に密着して働くことは楽しい?</p> <p>内 容:地方移住やコミュニティへの注目の高まり、拡大と成長の時代、拡大と成長の時代の終焉、おわりに</p> <p>教科書・指定図書 第9章</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):未婚のままでは気楽か</p> <p>内 容:未婚期間の長期化と親子関係の変化・リスク、結婚適齢期からの解放とパラサイト生活、重なり合う親子のライフコースとキャリア選択、リスク社会における個人の自立と格差</p> <p>教科書・指定図書 第10章</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):結婚は幸せか</p> <p>内 容:近世の結婚から「近代家族」へ、「結婚=幸せ」の時代、「結婚=幸せ」への疑問、これからの結婚を考える</p> <p>教科書・指定図書 第11章</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):親になるということ</p> <p>内 容:「母親らしさ」「父親らしさ」って何?、出産と子育てのための(異性)結婚、女性カップルの子育て、親になることの多様性</p> <p>教科書・指定図書 第12章</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):ひとり親として日本社会をどう生きるか</p> <p>内 容:はじめに、ひとり親家庭を「例外」とする日本社会、ひとり親家庭が経験する困難、離婚を「不幸」につなげない社会を作るために</p> <p>教科書・指定図書 第13章</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):働きながら親の介護をすること</p> <p>内 容:年長いた親の介護は誰が担うのか、女性にとっての介護問題、多様化する介護問題、柔軟な発想で介護に対応することが重要</p> <p>教科書・指定図書 第14章</p>
試験	